

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2024

2

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 1月例句会	19
川柳吟行会「ぼ」	28
十和田たてがみ川柳会 12月句会報	25
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	18
Infomation	32～

## カンテラ

むねこ

この稿を書いているのは、1月中旬。  
能登半島がまだ大変な状況です。そして、ガザもウクライナも。

月刊おかしようき2月号が発行されるころ、これらの地域はどうなっているのかなと思っています。  
能登半島よ生き返れ！戦争なんてなくなれ！です。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

## A群

無味無臭無色透明いいじゃない 村上あつこ

発酵が遅い無口な麹菌

戒 踊兵

身の丈はこんなに縮むこの世の雪

吉田州花

羽根つきの羽根を待ってるお正月

渡邊こあき

渡邊こあきさん、「羽根つき」って広辞苑に『はねつき』【羽子突き】羽子板で羽子をつけて遊ぶこと。』と出てくるやつですよ。インターネットで「はねつき」を検索するとほとんどが「羽根突き」なのにどうして広辞苑は「羽子突き」なんだろう。それはまあいいとして、「羽根つき」に「羽根」がないと困りますね。世の中肝心なときに肝心なものがないってことまますますからね…(汗)

## B群

半熟のままバス停に並んでる

三浦蒼鬼

百均へ鈍感力を買いたしに

宮井いずみ

二百歳年上の杉に怒られ

田久保亜蘭

眉を描く紅を捨てても女偏

坂本清乃

擦り剥いた膝小僧から見えるもの

ひらく

ささやきは天使か悪魔もしや雪

まみどり

好転の手前で穴に落ちました

村井規子

君が居てまた時計が動きはじめた

田中 薫

冬銀河そこで光れるならば良し

斎藤泰子

制服の尻尾を隠す試着室

須藤しんのすけ

八重歯抜く 一緒に昭和抜いてみる

芝岡かんえもん

ポケットの十円玉が咳をする

鳴海賢治

福耳も五体の一つ寒の水

村上てる

遠い日のメール読み返して ひとり

葉 閑女

沈黙の先にニンジンぶら下げる

一帆

燭台を入れて完成するヌード

安藤なみ

見知らぬ街の雨に濡れたい日もあって

柳本恵子

ブリザード模様の眉で睨まれる

四ツ屋いずみ

トコトコとひらがなキャピキャピと絵文字

きさらぎ彼句音

待つものはみんな濡れてる曲がり角

米山明日歌

米山明日歌さん、いつ頃だったか忘れましたが「曲がり角」を使った句が流行ったことがありますよね。そう言えば「物語」も流行ったなあ。で、この句、「曲がり角」の使い方がさすがに上手い。あ、またまたその言えませんが、「濡れる」が流行ったこともありました。

## C群

ヘブライの合唱団の夜の庭

小野五郎

如月を産んだ六十三個産んだ

守田啓子

また少しカーブをつけて終わるのね　ひとり静  
何とかなるが横一列でやってくる　熊谷冬鼓  
拐かしてきたわ島原の階段筆筒　岩根彰子

小野五郎さん、「ヘブライ」は『ヘブライ【Hebraios  
ギリシア・希伯来】他民族がイスラエルの民を呼ぶの  
に用いた名称。』（広辞苑第七版）ですよ。今、イス  
ラエルは大変なことになっていますが、そのこととこ  
の句は関係あるのでしょうか。「の」を3つも使って  
いて、最後の「夜の庭」が印象的です。

守田啓子さん、「如月」って陰暦の2月のことです  
よね。「如月を産んだ」って、啓子さん、2月生まれ  
なのかな？で、63回目の誕生日（2月）を迎えたとい  
う句なのかな？啓子さん独特の不思議な句だなあ…。  
ひとり静さん、この句スルンと読めるんだけど、心  
のどこかに引っかかります。それは、この句が「少し  
カーブ」しているからかもしれませんね。

熊谷冬鼓さん、「何とかなる」が「横一列」で向かっ  
てきたら何でも出来そうな気になります。もはや無敵  
ですね。私なんか「どうにもできない」が「縦一列」  
でやってきて、困っています。

岩根彰子さん、この句の「島原」って京都にあるん  
ですね。最初、長崎県の島原だと思っていました。「島  
原」と「階段筆筒」をキーワードにインターネット検  
索したら、京都の島原にある『角屋』（すみや）とい  
う揚屋建築がヒットしてびっくり。重厚な「階段筆筒」  
の写真もありました。そう言えば、彰子さんは京都の  
ひとだものね。彰子さん、「拐かす」って「誘拐する」っ  
てことですよ。広辞苑に「子供や女などをむりやり、  
または、だまして他に連れ去る。」という語釈があり  
ます。彰子さん、腕力もすごいんですね。

おかじょうき川柳社会員雑誌集

# 無人駅

★無人駅1月月間賞

油断してはるエナメル靴のほつぺた

岩根 彰子



瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

回れ右ぼくの知らない別世界  
拳銃も刃物も所持はしていない  
黒という景色が白くなる輪廻  
いい話しか聞こえないロバの耳  
あとひとつ足せば戻れぬ百八つ

先月号のお気に入り

落ちていてください。死ぬまで生きれます Sin  
ジタバタしてもどうにもならない。お迎えが来るときは来るもの。一刻一刻を大事に……。なんかジワアと染みてくる作品です。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

素養なら大根の根に聞いとくれ  
七日目の命はくれと言わないが  
濃厚な関係止めた鉛と鞭  
東京を履いても大阪に勝てぬ  
二百歳年上の杉に怒られ

先月号のお気に入り

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

忘れよう今日忘れよう昨日ひつじさん  
エトセトラエトセトラ十二月です  
時間です後悔するもしないも時間  
君が居てまた時計が動きはじめた  
絡んで困らせてるのに通り雨

先月号のお気に入り

知ったフリして水色のバスに乗る 須藤しんのすけ  
わたしも、乗っちゃいそう

旅男【たびお・青森県五所川原市】

もどかしき沼の野次馬 やれやれ  
ルフィの牢屋覗きたい？ やれやれ  
叙勲して益々四角になつたら  
ナンジャカンジャそれでも自民党な  
駆除苦情柿の木を切る やれやれ

先月号のお気に入り

誰ともうまくいってない 雨 集合 Sin  
3語の取り合わせが凄じ、生きざるを得ない感にずぶ濡れ。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

しあわせの権化焼き芋栗ご飯  
あがいてる若いんだよねおばあちゃん  
四ケタの数字になった日のわたし  
キラキラの景色を見よう羽を買おう  
黄昏て辰の背中であまる月

先月号のお気に入り

黄昏を煮るか焼くかで揉めている 安藤なみ  
塩加減に気を付けて焼いてみたいです

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

年明けて未だ手負いの若布たち  
追い込まれ若布本領發揮する  
若布には若布の流儀いざ出陣  
得意気に若布令和を語り出す  
平和への祈り若布の揺れ加減

先月号のお気に入り

叩かれた時だけ熱くなるやかん 辻井洋子  
よくわかりますわ

夏草ふぶぎ【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

コスモスの道に置かれた福音書  
温暖化の地球が歌う賛美歌  
ペガサスが弧を描き飛ぶガザの空  
十字架のキリスト悲し気な曲線  
終結の壺を掲げているゼウス

先月号のお気に入り

八チの巣に聞かせて見よう子守唄 辻井洋子  
どうかハチがそれで越冬できますように。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

化学的根拠があつて風折れる  
いつからかひだりの小指ひだり向く  
ポケットの十円玉が咳をする  
あれをやりこれをやつてのひまつぶし  
それまでのわたしはにおいよくかんだ

先月号のお気に入り

晩秋が初冬かもめている親子 葉 閑女  
仲のいい親子が、よく見えます。

### ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

杭を打つ無限ループ化しないよう  
貴婦人の指先後のティータム  
また少しカーブをつけて終わるのね  
引き出しを開けたね宣戦布告だね  
そつとそつとまるいかたちのものすくう

先月号のお気に入り  
雨ですもの村人1になりきるわ  
わたしも村人2になりますわ  
土田雅子

### ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

戦艦大和よ今すぐ羽化し帰郷せよ  
焼き鳥と羽毛布団とピーチヤンと  
擦り剥いた膝小僧から見えるもの  
エプロンがロックを刻むオオミソカ  
ウルトラマンピコピコライトもシユワッチも

先月号のお気に入り

### まみどり【まみどり・青森県黒石市】

ふと寝落ちしそうな時のオルゴール  
ささやきは天使か悪魔もしや雪  
誘われて誘ってみんな夢の中  
目覚めたら必死に思い出すそぶり  
あいまいな記憶で本日もスルー

先月号のお気に入り  
好きなことばかりやってもいいですか  
城後朱美  
はいどうぞ……とはなかなか行かないのです。

### 三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

「ん」で終わるしりとりがまだ続く古い  
家康の骨を私に移植する  
耳搔きにしがみついている冬の蠅  
半熟のままバス停に並んでる  
偶然は神の気まぐれかもしれないね

先月号のお気に入り

### 宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

バラードは目下解体修理中  
百均へ鈍感力を買い足しに  
区役所で出会うサボテン愛好家  
雨上がりバス停まえにピラミッド  
明日なんて見えなくていいホルスの目

先月号のお気に入り  
低温火傷する長男の定義  
三浦蒼鬼  
チOUNANノヨメの定義もなかなかの「ちりとてちん」  
でしたよ。

### 村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

スキー場ある町だけど雪雪いらぬ  
叩かれる人にまた惚れ眠れない  
お値段の何パーセントこの苺  
好転の手前で穴に落ちました  
年越しのやることリスト白髪染め

先月号のお気に入り

### 村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

羽化をして仙人になるはずだった  
シナプスが迷走してる迷子です  
電池切れスローになっていく暮らし  
無味無臭無色透明いいじゃない  
そこに触れられたらきつと自爆する

先月号のお気に入り  
ドーナツの穴にプーチン閉じ込める  
坂本清乃  
ドーナツの穴がいいですね。閉じ込めちゃいましょう！

### 村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

落葉舞う又くる春を待っている  
冬木立父は逝かぬと水の音  
福耳も五体の一つ寒の水  
陽を恋いて米粒ほどの冬木の芽  
大波小波母はオハコの佐渡オケサ

先月号のお気に入り  
海風が言わしてしまふナクモンカ  
ひらく  
海風に向って自分の意志表示をしている。ひらくさんの  
姿が見えてきました。私も頑張ります。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

如月を産んだ六十三個産んだ  
赦し乞う滑ったついでだったこと  
食べれると思うチャーハンカキフライ  
けど海に行く出廻らしのティーバッグ  
プロテオグリカン五錠静かな海になる

先月号のお気に入り  
円安が続くリンゴの皮をむく 鳴海賢治  
くるくると長いリンゴの皮が見えました。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

ルイボスティー注ぎ足し今日を泳ぎぬく  
見知らぬ街の雨に濡れたい日もあつて  
雨がやむ 何だか急に気がぬけて  
たった一人のあやとりの時間はじまる  
ニンゲンが好きで木守柿見上げてる

先月号のお気に入り  
知ったフリして水色のバスに乗る 須藤しんのすけ  
水色のバス、おしゃれなバスですね。乗ってみたいです。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

冬至来るうさぎ安心して眠る  
極月のリボンをつけたメロン来る  
ハーブティー過ぎてみないと解らない  
ワンホールのクリスマスケーキご褒美に  
銀スプーン運を落さぬよう磨く

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

次郎柿男性名詞に入れておく  
ブリザード模様の眉で睨まれる  
失言は甘酒不足だったから  
エゾモモンガに譲りますよとシマエナガ  
できるかも 軽く言い過ぎて今

先月号のお気に入り  
いい機会 龍の鱗もなでてみる 斎藤泰子  
いいですね 私(辰年)も撫でてみたいです。

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

もういない人としている文字談義  
割り引いて聞いていました褒め言葉  
憂きことを思えば空も湿りがち  
形見です阿弥陀如来とフェルメール  
遠い日のメール読み返して ひとり

先月号のお気に入り  
与えてもらったこと伝え切れなかったこと 土田雅子  
11月号の5句は雅子さんから岸柳先生への追悼・追想句  
だったんですね。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

晚菊の雪の衣を見て飽きず  
かぼちゃ抱き日がな冬至を待つしぎり  
日の出遅ければ起床それに従う  
身の丈はこんなに縮むこの世の雪  
がんばっているのよプラントアの葱と

先月号のお気に入り  
小雨ふる一年だった破れ傘 吉見恵子  
破れ傘でもとりあえずあつて良かった。あ！破れ傘は自分か。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

辻褄の合わない話する扉  
わたくしの溢れた夢で湯冷めする  
待つものはみんな濡れてる曲がり角  
どうしよもないところに置いてある愛  
そしていま楢円の午後になる襖

先月号のお気に入り  
話すたび遠くへ行ってしまう人 葉 閑女  
そういう人いますね。もう無理して距離縮めなくていいのかもしれない。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

バス停で気づいた今日の冬ダイヤ  
サンドイッチぐちをはさんで半分こ  
お歳暮のおでんが踊る箱の中  
親指をテーピングして守る家  
羽根つきの羽根を待つてるお正月

先月号のお気に入り  
話すたび遠くへ行ってしまう人 葉 閑女  
合わない人とは会わない方がいいのかな。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

井戸端に集う六種類のパイ  
燭台を入れて完成するヌード  
駆け出しの後は円空仏になる  
ロボットの捻じれた影を見せよう  
流星は見世ものらしく落ちていく

先月号のお気に入り  
月欠ける様にせんべい食べる癖  
わたしも同じです。  
坂本清乃

一 帆【いちほ・秋田県秋田市】

家庭内別居しているひとつ屋根  
沈黙の先にニンジンぶら下げる  
素直さを売りものにして鉄兜  
ああ言えばこう言う落ち葉落ちる時  
納棺に惚れた八重歯とする別れ

先月号のお気に入り  
生きてきた女の小波たずさえて  
時々の大波にも耐えてくれてありがとう。  
笹田隆志

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

ガンダーラお釈迦さまには蒙古襲  
南向くモハーベ砂漠の道祖神  
ヘブライの合唱団の夜の庭  
鯨餅広がるようにガリラヤ湖  
ガーベラのがとべの間にガザ北部

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

冬薔薇に浮かんだ妣は黄泉の顔  
北風を浴びて世間の風被う  
ニンゲンの定期発作の戦かな  
冬霧や事実セカイはこうなんだ  
カピバラを真似て口まで湯に浸かる

先月号のお気に入り  
院長の背中は多り出しカルテ  
母が入院中の院長の背中がそうでした。  
岩根彰子

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

口下手な箱と掴み合っている  
十六夜の甘皮きつく整える  
半径に猫の欠伸やポルノ館  
拐かしてきたわ島原の階段箆筒  
謹んで妖怪通りの洗面器

先月号のお気に入り  
雨ですもの村人になりきるわ  
芝居がかっているところが好きです。  
土田雅子

戒踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

発酵が遅い無口な麹菌  
腹黒く成れない人が多すぎる  
あと五分騙し通せる語が枯れる  
イバラの道 舗装しちまえそんな道  
野葡萄に眼を盗まれた銀ヤンマ

先月号のお気に入り  
跳び箱を明日のよめぬ高さまで  
不安 一か八か、ドキドキ、勇氣、絶望、果てしない挑戦。  
米山明日歌

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

アレまでにアレをアレしてアレのよ  
接頭語はパリの小粋なイリュージョン  
恋もロックも水つぼくなるまでの酔い  
トコトコとひらがなキャピキャピと絵文字  
サンドウィッチのハムときゅうりでいたい夜

先月号のお気に入り  
天蓋破るる八竜神のいばり  
地が割れそうな豪雨は八竜神の尿だったのね(笑)  
旅男

熊谷冬鼓【くまがいたうこ・青森県青森市】

スツピンで行こう勝負は見えている  
ポイント10倍渋滞してる傘に雪  
思い込みだったと詫びるネギの白  
何とかなるが横一列でやってくる  
会えなかった長さ知ってるガラス瓶

先月号のお気に入り  
カメメだし四拍子だし初冬だし  
言い訳にこの手があったか  
柳本恵子



齋藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

冬銀河そこで光れるならば  
良し  
さあ発とう銀河はきつと遠かろう  
傘どうぞお互い様のこの世だし  
大衆の尻尾を汚さないように  
一応は生者で死者を語り合う

先月号の  
お気に入り

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

眉を描く紅を捨てても女偏  
銃弾より干し柿飛ばすがザ地区へ  
今で終わり今で始まるまあ、いいか  
右肩がやけに凝ってるカラス群れ  
独り居もままごとなのかネギ刻む

先月号の  
お気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

そこそこの左脳存在感はある  
出たいのはやまやまかがみの人の口  
ダイガクはバカ田を出ましたが何か  
歌人じゃない柳人じゃない教師です  
さようなら恩師わたしは青になる

先月号の  
お気に入り

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

得意技ですキングゴジラのキックバック  
最新作も胡瓜畑も暑苦しい  
キングゴングの欲しがっている雨合羽  
金の卵がピコピコと鳴る靴を履く  
自叙伝を泳がしている日本海

先月号の  
お気に入り

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

約束の龍がわたしを連れにくる  
手出し無用 引き摺り続ける十字架  
八重歯抜く 一緒に昭和抜いてみる  
ひとりぼっちでズーツと春を食べている  
のんびりと今年の俺を焼いている

先月号の  
お気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

好きなこといくつもあって選べない  
たつぷりと遊んでるのに満たさねぬ  
焦らずにコーヒーくらい淹れなさい  
親友が遠くになつて消えていく  
母を看る衝動買いがまだ続く

先月号の  
お気に入り

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

百本のフィルムに刻む一行詩  
女より先に死にたいシャボン玉  
月を見る俳句の会の帰り道  
制服の尻尾を隠す試着室  
北国でレゲエシンガーやっています

先月号の  
お気に入り

むさし【むさし・青森県蓬田村】

雪の朝白いカラスがやって来る  
時計の針を追いかけている老いた犬  
前頭葉も後頭葉も猛吹雪  
寝返りを打つても雪が止まないぞ  
雪掘って掘ってワタシを探してる

先月号の  
お気に入り

# 深艘心理

デリートデリート濡れ雑巾を握りしめ 宮井いずみ

(会員雑詠集 無人駅12月号より)

まづもって、昨年11月に旅立った妻の葬儀と喪中の為に2ヶ月間「深艘心理」を欠稿した事をお許し願いたい。と共に、その節の多くの方々から頂いた御申意に深く深く感謝を申し上げる。

さて、掲句。デリート(delete)とは「書かれたものやコンピューターのファイルなどを削除「抹消消去」する、取り除くというパソコン用語らしい。パソコンが苦手な私にはよくは分からないのだが…。そういえば、パソコンのキーボードの1番上の右にdeleteと書かれた文字盤があったっけ(汗)

しかし、なぜ消去キーを2度も押すのに濡れ雑巾を握りしめる必要があるのか? うーむ。

論理的に掲句を理解しようとしてもこの句は理解出来ない心象句なのだろう。

そこで、軽薄・テキトーな「深艘心理」的な解釈をする事にする。

作者は日常の事を思うがままに日記に記す日課を長年続けている。ま、今はもう死語ではあるが、たおやかでまさに大和撫子的な美人…だとする。穏やかな性格で滅多に怒ることは無いのだが、偶に、ホントに偶にはあるが夫の優柔不断な態度にそれまで堪えていた怒りが爆発したのだろうか。日記にあることか「あんな人死んじやえば良いのに」と書いてしまったのだ。うむ。そして少し冷静さを取り戻した時、一言言っただけいけない事を書いてしまった自分を大いに恥じたのであろう。デリートを2度も繰り返し返したように。

しかし何度デリートしたとしても、少しでもそんな事を思った自分のおぞましきは消せはしない。そんなバツチイおぞましさを消すのは必然的に濡れ雑巾でなければならぬということなのだろう。知らんけど。

と、まあ泣けるだけ泣いたので新年から妄想三昧でもしなければやってられないのだ。

## 省略をすれば

1月6日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(12名)

夏草ふぶき・守田啓子・熊谷冬鼓・きさらぎ彼句吾・田中薫・葉閑女・渡邊こあき・野沢省悟・原口健二・笹田隆志・むさし・須藤しんのすけ

▼投句者(16名)

安藤なみ・嵯峨山登・吉松澄子・米山明日歌・岩根彰子・柳本恵子・芝岡かんえもん・旅男・城後朱美・郷田みや・宮井いずみ・まきこ・斎藤泰子・一帆・まみどり・村上あつこ

おかじょうき川柳社 1月例会句会

席題『約束』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

シン・ゴジラになったら駆落ちしよう  
野沢省悟

会えなかった約束のドラマうむ  
渡邊こあき

約束は星で飾って食べましょう  
むさし

ダブルブッキングそれって私のせいですか  
熊谷冬鼓

門限は破る 脱皮の時がきた  
きさらぎ彼句吾

約束を破った揺れた燃えた泣いた  
守田啓子

ありのまましゃべってごらん別離まで  
笹田隆志

猛吹雪約束のときを見失う

渡邊こあき

ここだけの話ナーモードと致します

熊谷冬鼓

このぬくもりを覚えておいてくすり指

きさらぎ彼句吾

【秀逸】

削除することが約束咲く椿  
野沢省悟

手枷足枷ゆうやけになるつもりです  
守田啓子

じれつたい約束砂になりますよ  
田中 薫

【特選】

約束も詰め込むナスのはさみ揚げ  
むさし

† ナスのはさみ揚げを味わいつつ、約束  
もかみしめるのですね。

席題『約束』

青森県三沢市 守田啓子選

【佳作】

約束なんてこの世にあつてはいけない  
田中 薫

反故にした約束ひとつふたつみつ  
熊谷冬鼓

朝顔昼顔夕顔どの顔で逢おう  
野沢省悟

約束はしない風任せの散歩  
葉 閑女

会えなかった約束次のドラマうむ  
渡邊こあき

ドラえもんエンターキーで約束をアップ  
田中 薫

破れ傘 信じる事をやめました  
夏草ふぶき

じれつたい約束砂になりますよ

田中 薫

約束も詰め込むナスのはさみ揚げ

むさし

誓います鈍行列車と生きる事

夏草ふぶき

【秀逸】

ダブルブッキングそれって私のせいですか  
熊谷冬鼓

す・す・とするのどあめのあまいうそ  
須藤しんのすけ

門限は破る 脱皮の時がきた  
きさらぎ彼句吾

【特選】

削除することが約束咲く椿  
野沢省悟

† こんな恋を試してみたかったなあ。

# 宿題『カバー』

青森県蓬田村 むさし選

## 【佳作】

ふとんカバー替えてあしたの方を向く  
 青い海剥がすとマリア様の恥部  
 マスクを外すと一緒に消えた顔  
 母さんを剥がせばただの痩せつぼち  
 バレないように分け目は右に変えておく  
 のつべらぼうが好んで使うファンデーション  
 腕カバーはずす本日休肝日  
 赤恥の詰まった記憶に蓋をする  
 カバーするつもりだったがモアイ像  
 安心して下さいカバーがついてます  
 嘘だけはカバーできない厚化粧  
 どんまいと母さんが言うから生きる  
 邪推だけ綺麗に包み生ゴミに  
 さりげなくハードカバーでいてくれた  
 取り憑いてないかくすぐつてみるカバー

斎藤泰子  
 野沢省悟  
 野沢省悟  
 一 帆  
 須藤しんのすけ  
 夏草ふぶき  
 葉 閑女  
 原口健二  
 宮井いずみ  
 野沢省悟  
 城後朱美  
 斎藤泰子  
 芝岡かんえもん  
 きさらぎ彼句吾  
 宮井いずみ

死語きみの本のカバーになります

凍て蝶に似合うケープは花模様

傘として雨の話聞いてみる

エプロンを汚したくないハイヒール

ガンバリを剥がせば後期高齢者

## 【五客】

真夜中の枕カバーはしゃべり過ぎ

カバーしてカバーしてと月が落ちる

ハートブレイク日はまた昇ることもある

いい夢もいつしよに包むオムライス

透明のカバーなんです黙秘です

## 【人位】

君だけの居場所を包む水の音

## 【地位】

ペディキュアマニキュア棘に見えないように

## 【天位】

淋しさを脱いで吹雪に包まれる

『もしかしたら、吹雪って暖かいのかも』

夏草ふぶき

須藤しんのすけ

きさらぎ彼句吾

嵯峨山登

葉 閑女

米山明日歌

夏草ふぶき

熊谷冬鼓

熊谷冬鼓

安藤なみ

安藤なみ

吉松澄子

郷田みや

# 宿題『差』

青森県青森市 渡邊こあき選

## 【佳作】

膨らます小鼻歳の差埋まらない  
 行列の最後にいつもまわされる  
 いつのまにか人差し指が曲がってる  
 パン1個差し出す事の出来ない手  
 元朝や母の享年まで十年  
 おばさんからおばあさんへの活断層  
 認めます僅差でしたが負けは負け  
 笑い転げて差し引きゼロにしてしまう  
 薔薇と茨多少の差は気にしない  
 さえずりを束ね段差になる日まで  
 登山帽に差をつけられた山ガール  
 幸せの温度差今朝の味噌汁熱めです  
 末っ子というだけでゼロファンの中  
 てきとーでいいのよ誤差の範囲なら  
 被災地を思うぜいたく過ぎる朝

須藤しんのすけ  
 夏草ふぶき  
 村上あつこ  
 守田啓子  
 葉 閑女  
 野沢省悟  
 まきこ  
 むさし  
 斎藤泰子  
 守田啓子  
 城後朱美  
 柳本恵子  
 きさらぎ彼句吾  
 吉松澄子  
 葉 閑女

死語きみの本のカバーになります

凍て蝶に似合うケープは花模様

傘として雨の話聞いてみる

エプロンを汚したくないハイヒール

ガンバリを剥がせば後期高齢者

## 【五客】

真夜中の枕カバーはしゃべり過ぎ

カバーしてカバーしてと月が落ちる

ハートブレイク日はまた昇ることもある

いい夢もいつしよに包むオムライス

透明のカバーなんです黙秘です

## 【人位】

君だけの居場所を包む水の音

## 【地位】

ペディキュアマニキュア棘に見えないように

## 【天位】

淋しさを脱いで吹雪に包まれる

『もしかしたら、吹雪って暖かいのかも』

夏草ふぶき

須藤しんのすけ

きさらぎ彼句吾

嵯峨山登

葉 閑女

米山明日歌

夏草ふぶき

熊谷冬鼓

熊谷冬鼓

安藤なみ

安藤なみ

吉松澄子

郷田みや

差はあるか君と私の優しさがごっこ

一悶着あったし温度差はあるし

2センチの段差は慣れてますかしこ

誤差みつつ集め和音にしてしまう

段差の歪みもう地球も年なのよ

## 【五客】

差し出し人宛名もわたし春ウララ

二、三キロ違えば雨は止んでいる

年の差に春風いれてくれる人

たそがれの段差格差に順応中

差別用語空いっぱいに書きまくる

## 【人位】

大差なんて線を一本足せばいい

## 【地位】

年の差を煮詰めてポテサラを添えて

## 【天位】

この案に遊び心はありますか

『遊び心が差をつけるなんてステキ。』

まきこ  
 吉松澄子  
 熊谷冬鼓  
 郷田みや  
 田中 薫  
 米山明日歌  
 葉 閑女  
 米山明日歌  
 熊谷冬鼓  
 まきこ  
 郷田みや  
 宮井いずみ  
 宮井いずみ  
 宮井いずみ



# 宿題 『自由詠』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

## 【佳作】

まつとうに生きるって何冬の雨 熊谷冬鼓  
 ぶぎつちよな一日だったねヒヤシンス 夏草ふぶき  
 もてあます常識的な四角形 吉松澄子  
 「コスモス」は「コスモス」他は全て花 須藤しんのすけ  
 道連れはまだ決めてないカラスカア まきこ  
 生きてることが大人の絵本だと思っ 野沢省悟  
 茶碗蒸しこんなに美しい和みとは 田中 薫  
 境内でパントマイムをして帰る 岩根彰子  
 ここじゃないここじゃないわと舞うワカメ 米山明日歌  
 指切りの指を落とした帰り道 夏草ふぶき  
 君の瞳どんな色でもかまやしない 田中 薫  
 こんな私も見つけてしまう雑記帳 斎藤泰子  
 青空に誰かが穴を空けている むさし  
 あけまして夢から覚めていくところ 斎藤泰子  
 常識の識のところのポップ体 宮井いずみ

これからも喜怒哀楽を乗せた屋根  
元旦の朝に絡まる句読点

発情を恐れず鰓で勝負する

行かず後家みたいな蘭と立ち話

嘘っぽい返事ハイという返事

## 【五客】

友達に先を越された吹雪かた

つまみ食いしながら生きる終楽章

自画像は桜ハラハラ散ってます

ふるえてる夜を差し引いたとしても

逢いたいを音符にすればブラムス

## 【人位】

極月や柔軟剤を強くふる

## 【地位】

顔認証できずに年は明けました

## 【天位】

省略をすればアゲ八になる答え

『そんな答を求めて愛するわ。』

村上あつこ

郷田みや

笹田隆志

岩根彰子

吉松澄子

米山明日歌

葉 閑女

まきこ

守田啓子

吉松澄子

芝岡かんえもん

柳本恵子

米山明日歌

# 十和田たてがみ川柳会十二月句会

○日時 12月16日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・佐藤まさあき

白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高

田幸柳

○投句者 磯島雅男・斉藤蛙井・城後朱美

## ■席題 『振り出し』 佐藤まさあき 選

### 【平抜き】

振り出しで足踏み他の道探る 白山 修治  
 放流の鮭が奥入瀬川還る 瀧尻 善英  
 振り出しで活躍誓う二刀流 高田 幸柳  
 振り出しに戻る覚悟の反撃を 高田 幸柳  
 ティバック振り出し葉をまねている 福田 芳記  
 ついてない上がり直前振り出しへ 福田 芳記  
 好取組二度も観られた取り直し 福田 芳記  
 振り出しに戻ってみれば亡父の膝 高田 幸柳

### 【秀逸】

振り出しの位置で自分を確かめる 木村奈生美  
 出発へ背を押したのは風だろう 木村奈生美

【特選】  
 今日からは脱皮へ進む始発駅 木村奈生美

## ■席題 『振り出し』 瀧尻 善英 選

### 【平抜き】

サイコロのコロコロライフ泣き笑い 村上 昌子  
 人生を振り出しにせずゴールまで 久保あざみ  
 振り出しでまたスタートかあきらめぬ 白山 修治  
 ついてない上がり直前振り出しへ 福田 芳記  
 確かめるいつも振り出しくり返し 白山 修治  
 孫「上がり」ジジはまたまた振り出しへ 佐藤まさあき  
 今日からは脱皮へ進む始発駅 木村奈生美  
 振り出しに戻ってみれば亡父の膝 高田 幸柳

【秀逸】  
 振り出しの位置で自分を確かめる 木村奈生美  
 出発へ背を押したのは風だろう 木村奈生美

【特選】  
 振り出しで活躍誓う二刀流 高田 幸柳

■宿題 『ふてぶてしい』 久保あざみ 選

【平抜き】

- 裏金で答弁控える連発す  
 ふてぶてし金かねカネと政治やり  
 野良猫が我が家の庭で大欠伸  
 ミサイルを放ちふてぶてしい笑顔  
 遠慮なく晩酌時来て五合呑む  
 ふてぶてしき耳鳴り鳴って朝が来る  
 ぶち切れて開き直れば丁寧語  
 拉致問題知らぬ存ぜぬ北のキム  
 人の口ふてぶてしいと知らずして  
 来賓を座ったままで出迎える  
 ガザ地区を地獄と化したネタニヤフ
- 佐藤まさあき  
 齋藤 蛙井  
 城後 朱美  
 磯島 雅男  
 佐藤まさあき  
 磯島 雅男  
 村上 昌子  
 福田 芳記  
 白山 修治  
 高田 幸柳  
 福田 芳記
- 【秀逸】  
 サギ犯が薄ら笑いで移送され  
 爆音機耳を塞いだ野生猿
- 佐藤まさあき  
 高田 幸柳
- 【特選】  
 中国がミッキー奪う著作権
- 瀧尻 善英

■宿題 『含む』 瀧尻 善英 代選

【平抜き】

- どちらかと言えば善人に含まれる  
 懇願に含み笑いの返答が  
 鶴亀算嘯んで含めて理解させ  
 ポイントを含む日用雑貨買う  
 含むとは意味深の略裏を知る  
 プロポーズ恥じらい含んで承諾す  
 幸せを含むなら買う福袋  
 野良着から赤児におっぱい含ませる  
 聞こえぬが含み笑いは目に障る  
 栄転に皮肉を込めた激励が  
 政権は裏金含むパー券だ  
 歌えないのどあめがまだ口の中  
 言葉には含蓄ありと推し量る  
 お手柄を自分を含め報告す
- 城後 朱美  
 高田 幸柳  
 佐藤まさあき  
 磯島 雅男  
 白山 修治  
 佐藤まさあき  
 木村奈生美  
 村上 昌子  
 高田 幸柳  
 久保あざみ  
 福田 芳記  
 白山 修治  
 高田 幸柳
- 【秀逸】  
 血糖値上げるマスクの下の飴  
 多数派に含まれている安堵感
- 村上 昌子  
 城後 朱美
- 【特選】  
 切り捨てに何時も含まれている弱音
- 木村奈生美

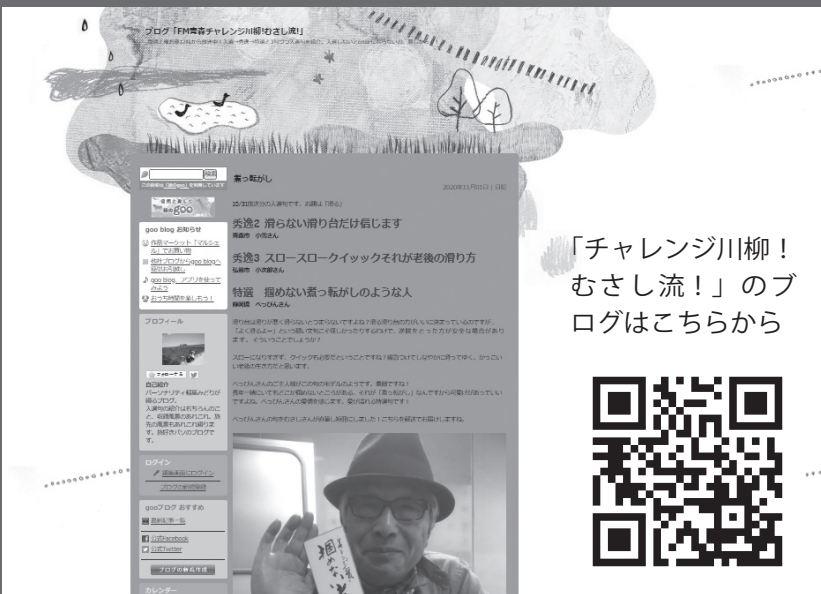
■宿題 『不器用』 互選

- ①不器用と吾が身を重ね心得る  
 ②切れ切れにリンゴ皮剥くごっつい手  
 ②野球ではゴロでテニスは飛距離出す  
 ③コツコツと研げば不器用でも鋭利  
 ③不器用も良いさやる気も夢も有る  
 ⑤不器用に生きて天寿を全うし
- 白山 修治  
 佐藤まさあき  
 瀧尻 善英  
 磯島 雅男  
 木村奈生美  
 高田 幸柳

◆十和田たてがみ川柳会 二月句会案内◆

【時】 2月17日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働  
 福祉会館 【宿題】 (各題三句詠) 『ほればれ』 高田幸柳  
 選 / 『寶石』 木村奈生美選 【互選】 (一句詠) 『ポロポ  
 ロ』 当日出席者のみ (句せんの裏に柳号記入) 【席題】  
 一題 (三句詠・共選) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者  
 から一名 【投句先】 〒034-0212 十和田市米田字桜平  
 72 高田幸柳宛

「チャレンジ川柳！  
 むさし流！」のブ  
 ログはこちらから



The image shows a QR code on the right and a screenshot of a blog post on the left. The blog post is titled "チャレンジ川柳！ むさし流！" and features a header image of a person in a hat. The text in the screenshot includes "ブログ「材料費零チャレンジむさし流！」" and "「むさし流！」のブログはこちらから".

# 川柳吟行会「ぽ」課題『走る』

一人吟行の題が「走る」なので、取り敢えず走る事にした。朝4時に起床し、トレーニングウェアにランニングシューズを履く。アキレス腱を伸ばし準備運動をして走り出す。初日の目標は町内一周。目標の半分を走ったが、思いの外足が軽く息も上がらない。それどころか走る速度が物足りなく徐々に速度を上げる。気がつくともう町内三周目が終わる。そうだフルマラソンに挑戦してみようと思つた瞬間、スマホのアラーム音に起こされた。

(須藤しんのすけ)

【11点】特×4・佳×3  
走る走る全部肯定して走る

守田啓子

ます。【啓子】つたく、自分。ゆつたりと暮らせばいいのに。共感の一句。【隆志】現代人は歩き続けなければならぬし、そんな自分が好きならず、でも、そんな自分が好きなんです【まあこ】自分が好きって凄くない。【さち】息が続くうちは走れる自分を愛しましょう。【文音】すぐく納得します。走ることは働くことと私は思いました。自分が好きだから走れるんです。誰のせいでもないです。【五郎】独自の視点、共感をよぶ。

【7点】特×2・佳×3

駆け抜けてしまえ竜馬の顔をして

月波与生

【いずみ】「竜馬の顔」という措辞で句が広がった。壮大で気持ち良い句だ。【こあき】残りの人生こういうふうに住ぎられたらナンボーイイべ。【冬鼓】竜馬はいざという時作者を奮起させるアイテムですね。【ふぶき】竜馬の顔になれるなんてすごいと思います。私も同じように変身してみたいです。【さち】駆けている作者と重なり合う龍馬の顔の発想が面白い。

【6点】特×2・佳×2

走るのをやめたら影も消えました

城後朱美

【柳本恵子】生きてりやいいき。走り続けるのが大事と気づきました。【冬鼓】そうか走り続けるとは今を肯定して進むということなのかと納得。3回の「走る」と「全部肯定」に勢いを感じる。【ふぶき】すべてに肯定したら色んな問題が降りかかりそうだけどそこを走り抜けちゃうなんてきつと気持ちよさそう、どうか後悔ないように。【州花】こんな風に走れるのはいくつまでなのでしょう。【与生】爆風スランプの『Runner』そのものではあるが力強くて元気があってよい。【いずみ】そうだよ。反省して落ち込むより、全部肯定して遠くまで走ろう。【こあき】全部肯定いいですね。

【10点】特×3・佳×4

走りつづける自分が好きだから困る

吉田州花

【朱美】まるで私です。休むことを忘れて走り続けて、そしてダウン。三日間寝込みます。懲りない自分に呆れ

【吉見恵子】納得です。影がないのも淋しいものですね。【善江】「影」がポイントかなと思います。でも走りたいです。【彰子】あつげらかんとした書き方に好感を持つた。【五郎】不思議な句だが妙に納得してしまう。

【5点】特×1・佳×3

秋桜の海を迷走しています

渡邊こあき

【五郎】心象風景が伝わってくる。【与生】秋桜はさだまさしが「こすもす」と読ませたのであつて和名は「あきざくら」。「こすもす」と読むのであればひらがな（もしくはカタカナ）でいいのでは。【善江】私の心象風景のようです。共感の一句です。【州花】こんな時間があるのも秋ならではの。

【4点】特×1・佳×2

その奥にファスナー走る冬の滝 小野善江

【かなえ】来し方を振り返って、冬の滝。「他人には言えないドラマ」は誰にでもある。「ファスナー走る」が秀逸。【吉見恵子】ファスナーの勢いで滝を表現していたとは。【いずみ】冬の滝の奥にあるファスナーの中には何があるのだろう。想像がかきたてられる。

10m走の記録更新中

小野五郎

【まあこ】10mを競走するって新鮮でした。私も走れそうですね。【冬鼓】10m走とは愉快。それくらいなら私も頑張れる。【かなえ】10mどころか1mもおぼつかないこの頃の私。共感しきり。

ささくれがティラノザウルスになり走る 月波与生

【文音】ささくれはどうして出来るのだろう。なぜ引っぱりたくなるんだろう。ティラノザウルスに聴いてみよう。走りながら。【啓子】奇想天外な発想に脱帽。【達雄】思念となつて何処へ？福井県？国会前？

朝の鏡に死ぬか走るか選ばせる 城後朱美

【彰子】人生を走るか死ぬか、決断を鏡に選ばせるという発想が斬新です。このように生きていきたいものだ。【しんのすけ】爽やかさ優先な朝の鏡にどっしりとした存在感があるのは、「死ぬ」と「走る」に仕組まれた微妙なズレを感じるから。鏡に選択を任せる時点でどこか呪いめいている。【隆志】そうは言っても今日も精いっぱい生きる決意

【2点】特×1

どこまで走れば自分が見えてくるのか 柳本恵子

【さち】自問をくりかえしながら生きる辛さ。思いが伝わってくるのですが。リズムを整えたらもつといい句になると思います。

走馬灯 運のなかつた蛍の死 吉見恵子

【しんのすけ】「走馬灯」は死の直前に次々と記憶が蘇る状態として使われたりするが、今回はまさにそれ。二週間足らずの寿命に運の有無を感じ取る人間らしい狭い考え方に惹かれる。

【2点】佳×2

ジヨギングは苦手 垣根にクレマチス 熊谷冬鼓

【ふぶき】走らなくてもいいんです、ゆつくり歩くと見える風景もいいものですね。【文音】なんとなくわかります。

いつだって「イージーライダー」風を切る 高木まあこ

【柳本恵子】いつまでも荒野を突っ走って。【かなえ】うん、

わたくしもクマなら走る柿たわわ

熊谷冬鼓

【達雄】熊の立場の時事句かつ道化句。ただ、作者も私も既に当事者だろう。近くで出ているし柿たわわだし。今だけは笑おう。【啓子】「クマだったら」という川柳眼がいい。【州花】なんか切ない秋ですね。

【3点】特×1・佳×1

落ち葉ですが心配無用走り書き 守田啓子

【与生】出だし6音「落ち葉ですが」の「が」が散文的であり気になる。5音で「落ち葉です」と始めて切っちゃえば17音で収まりもいいのだけど、あえて「が」を付けたのは、落ち葉作者を強調したいからだろうか。私なら付けないであろう「が」の存在。【善江】やはり「落ち葉」は走り書きになってしまいますね。

【3点】佳×3

ひとひらの淋しさのせて嵯峨野線宮井いずみ

【吉見恵子】光景が見えてきます。センチメンタルジャーニーですね。【柳本恵子】女の一人旅に嵯峨野の響きがよく合いますね。【隆志】「ひとひらの淋しさ」が嵯峨野線にぴったり

心意気や良し。音楽もかつこよかつたね。

【1点】佳×1

走り出す纏れる足もなんのその 高木まあこ

思い切り走れた昔夢の中 村井規子

走って走ってスキップへと変える 須藤しんのすけ

自転車で走るにはちと遠すぎる 笹田隆志

顔あげて走るうソプラノの空へ 宮井いずみ

徘徊か逆走するか迷ってる 小野五郎

遺言の文おもむるに走り出す 笹田隆志



## おかしょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかしょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

### ①「Google Chrome」でウェブサイトを開く。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているため「ロボットではありません」のチェックで済むようですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



### ② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用している場合、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出てこなくなります。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



### ③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずですよ。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます

### □ 2024.03.09 「らくだ忌」第3回川柳大会

【とき】2024年3月9日(土) 午前10時開場出句締切午前11時30分【ところ】ラポール京都(京都労働者総合会館)2階大ホール 阪急京都線・西院駅より徒歩7分 〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2 TEL075-801-5311【宿題】『つくづく』なかはられいこ選(岐阜) / 『追伸』藤井智史選(岡山) / 『鼻歌』まつりべきん選(枚方) / 『こめかみ』月波与生選(青森) / 『さやさや』矢沢和女選 / 『祭笛』木本朱夏選 / 『雑詠』くんじろう選(大阪)【事前投句】『副作用』森茂俊選(茨木) ※拡大2句出し(事前投句1句出し)・各題に秀句賞【締切】事前投句・欠席投句 2024年2月9日(金) 当日消印有効 封書でお送りください。【事前投句・欠席投句送付先・お問い合わせ】川柳らくだ忌・実行委員会事務局 〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-17-6 森 茂俊 まで

### □ 2024.03.29 '24 京都みんなの川柳誌上大会

【宿題(各題2句・未発表句に限る)】「線」岩田多佳子選(前年度優勝者・京都市)「そぞろ」斉尾くにこ選(鳥取県)「北」浪越靖政選(江別市)「挑む」みつ木もも花選(敦賀市)「突く」むさし選(青森県)【投句締切】令和6年3月29日(金) 必着【投句用紙】規定の用紙をご使用下さい(コピー可)【投句料】1,000円(定額小為替または現金、切手は不可)【発表】6月に作品集を郵送【賞】各題特選句と秀句2句に呈賞。成績を合点し上位から誌上大会実行委員会賞、福知山市長賞、福知山市文化協会賞、京都新聞賞、京都川柳作家協会賞を贈呈【投句先・問い合わせ先】〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町18 シオン6 中野六助方 京都みんなの川柳誌上大会事務局あて TEL.090-7107-2006【主催】京都みんなの川柳誌上大会実行委員会【共催】京都川柳作家協会

### □ 2024.04.21 青森県川柳連盟 第1回 あおもり春の川柳まつり

【日時】2024年4月21日(日) 12時受付/席題発表12時30分/投句締切13時30分/披講14時30分【会場】アウガ5F研修室(青森駅前)【会費】1,000円(発表誌含む) \*懇親会はありません【披講】司会:北山まみどり/文台:守田啓子・滋野さち【席題と選者】1題2句詠『 』2人選(選者は当日参加者に依頼)【宿題と選者】2句詠 \*投句拝辞『輝く』碧井溪翠選 / 『ゆっくり』太田久選 / 『寺』高森ましら(俳人)選【第1回川柳まつり大賞】(2句詠)『自由吟(雑詠)』熊谷冬鼓・瀧尻善英・千鳥鉄男選 \*対象は3人による合点の1位【賞】☆各特選作品および川柳まつり大賞に呈賞★ユーモア賞(当日の入選全句より、高瀬霜石選で数句に呈賞。発表誌にて発表)【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山 Tel080-5574-9297

■会費拝受【12月受付分】 ※太字は新会員

橋口和子・岩根彰子(以上京都府) / ひとり静・柳本恵子(以上奈良県) / 城後朱美(福岡県) / 安藤なみ(愛知県) / 竹下勲二郎(大阪府) / 斎藤泰子(秋田県) / 小林茂子(岡山県) / 斎藤恵子・吉田州花・熊谷冬鼓・渡邊静子・前田悠遊・まきこ・滋野さち・土田雅子(以上青森市) / きさらぎ彼句吾(弘前市) / 守田啓子(三沢市) / 高木まあこ(黒石市) / 鳴海賢治(つがる市) / むさし・ひらく・坂本清乃(蓬田村)

■おかげょうき川柳社会員募集中!

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名:おかげょうき川柳社  
→会費:6,000円(1年分)

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759  
(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2)

終着駅 Sin

◆今号、発行が遅れて申し訳ない(汗)ウェブサイトのサーバーにウイルスが侵入して、サーバーを停止させられてしまい、その復旧作業を終えて安堵したせいか、すっかり2月号の編集が頭から抜けていた(汗)◆昨年放送されたドラマ「セクシー田中さん」の漫画原作者が自殺するという悲しい出来事があった。事のいきさつは、漫画をドラマ化するにあたり、まだ連載中の漫画であるため、原作に忠実に作ってほしいという約束が守られず、テレビ局サイドで視聴者層に受けるような脚色をして制作。何度も抗議するも聞き入れてもらえず、最後の2話の脚本を原作者自ら執筆した。その顛末を原作者がnoteで世間に公表。脚本家の一部の人たちが原作者を批判するような投稿をし、原作者が命を絶ったという流れである。テレビ局側の立場もあるだろうが、脚色するならその漫画を選ばなきゃいいだ

ろうにとも思うし、間にいる小学館も連載中の漫画なのにも関わらず、ドラマ化によってコミックが売れてくれれば、作品が多少歪められてもしようがないという姿勢にも、なんだかなあと思ってしまう◆川柳というマイナーな文芸ではあるが、創作するという苦しさ・難しさは多少は気持ちわかる。それを、「こうしたほうが受けるよ」と承諾もなく違う作品に仕立てられ、漫画の読者よりも多いであろうテレビの視聴者に「こういう作品です」と流されてしまう。原作者のnoteを読む限り、これまでの漫画の物語の王道をわざと外して書いてきたのに、テレビでは王道そのものに脚色されて描かれていたと。こんな陳腐な設定で漫画を書く人なんだと、大勢の人に認知されることが本当に許せなかったのだろう。製作費を投資するスポンサーも、原作に惚れてスポンサーになってほしいものである◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2024.02.14 「川柳吟行会 ぼ」2月句会

【投句締切】2月14日(第2水曜日)【題・投句数】『握る』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛



□ 2024.2.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(4月号分)

【締切】2月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】4/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.03.02 おかげょうき川柳社本社3月句会

【時】3月2日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】3月1日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『クイズ』/『素』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『病だれ』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.03.13 「川柳吟行会 ぼ」3月句会

【投句締切】2月14日(第2水曜日)【題・投句数】『握る』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛





おかじょうき川柳社：誌上句会

# 0番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者（2句詠・共選）

題：『名』

2/29 〆切

選者

暮田真名（東京都）

Sin（青森県）

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/>へアクセスし、「投句する」→「0番線」を選び、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、**守田啓子宛**にメール送信してください。＜送信先アドレス：[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com)＞

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈）\*発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。